

福竈丸だより

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2
都立・第五福竜丸展示館内
電話(521)8494

○名で、日本からは学者一名、弁護士一〇名、被爆者二名が参加した。議題は「核兵器と法、生き残り・平和・発展への権利」である。

被爆国日本の代表団は、会場入口に被爆の惨状を示す写真や原爆瓦を展示し、広島大会宣言と代表団スピーチの各英訳文を各国の大会参加者に配布するなど精力的な活動を展開した。

オープニングセッションでは、広島長崎にも来られたハーゲ市長ハーバーマン氏の歓迎あいさつがあり、ついで同氏と面識のある被爆者山口仙二氏が長崎市長のメッセージを披露して感動的な幕あけとなつた。私は日本弁護士連合会長のメッセージを読み上げ、日本の弁護士の核兵器廃絶と被爆者援護

九月二二日から三日間、ハーグで反核国際法律家会議が開かれた。これは一九八八年四月に設立され、ストックホルムに本部を置く「反核国際法律家協会」(I A L A N A)の第一回世界大会である。

反核国際法律家会議に出席して

第五福島を思ひ
松井康浩

の活動について述べた。

三

が、その生産、運搬、廃棄物処理の過程で多くの人が被曝し、ガンが多発し、訴訟になつていているとのことであった。そこで各国の被害の実情につき情報を交換し、協力し合うことになった。

九月二二日から三日間、ハーヴィングで反核国際法律家会議が開かれた。これは一九八八年四月に設立され、ストックホルムに本部を置く「反核国際法律家協会＝I A L A N A」の第一回世界大会である。

参加国は二三十カ国、参加者は約一五〇名で、日本からは学者一名、弁護士一〇名、被爆者二名が参加した。

議題は「核兵器と法、生き残り・平和・発展への権利」である。

被爆国日本の代表団は、会場入口に被爆の惨状を示す写真や原爆瓦を展示し、広島大会宣言と代表団スピーチの各英訳文を各国の大会参加者に配布するなど精力的な活動を展開した。

話しを語る。全世界の法律家が力を合わせ、各國政府に法を守らせることをもって核兵器の廃絶に貢献すべきだと述べた。

分科会は八つあり「生き残りの権利」で山口仙一、「平和の権利」で最上敏樹、「核兵器と訴訟」で私、「核兵器とエコロジー」で根本弁護士が報告した。私は一九六三年東京地裁で世界最初の原爆は国際法に違反するとの判決があり、原爆は国際法の禁止する残虐兵器であり、その使用は必然的に無差別爆撃となるから国際法に違反すると

世界最初の核実験場であるネバダ周辺からも被害者が多く出ているらしいし、ビキニの被害についても私たちは全面的には知りえていないのではないか。原住民の被害の実態調査は終了しているのか。被害は救済されているのか。第五福竜丸は、日本のビキニ被害の象徴的存在であるが、日本の被害の全体像を明らかにし、そこからどのように教訓を得、今後どのように世界に訴えていかなければならぬのか。

卷之三

十月五日、故檜山義夫副会長のご遺族より協会に百万円の寄付が寄せられました。寿子夫人から故人の遺志にそつてと丁重な手紙を

アジアの留学生も見学
十月の来館者は約二万名。昨年の二倍以上で、埼玉、千葉からの中学校の来館も多くなりました。

母の願い

秋桜が咲きみだれ、澄み切った
風が心地よい。が、外気とはまつ
たく別に、私の身体には戦慄が走
り小刻みな鼓動が止らない。第五
福龍丸展示館をたった今出たところです。目の前には湾内とはいえ、
ビキニに続く海、こわい海、あの
日に続く海が広がっています。
　何度か来館していますが、帰り
はいつも決ってこの戦慄がはします。
娘と一緒に時は知らず知らずのうちに握る手と手に力が入っていま
す。久保山さん一家の悲惨な写真、
いつも娘と息子たちと私にみえて
しまう。いやだ！ 絶対にいやだ。
私は母なのです。隣りの奥さんも
母なのです。そして学校へ行けば
PTAのお母さんたちすべてが母
なのです。純粋な心で子どもたち
を守りたい。想いは同じはずです。

このところ、我家はちょっとゆき出るというのです。なんでも一年間国内ボランティアというのに行きたいというのです。私はといえばいつも簡単に「出てけば」などと口走るくせに本当に行ってしまふといわれてだらだらとしてしまふといい放心状態、それでも息子の意志は固いようです。

次男は高二でルポルタージュクラブに入っています。去年は三宅島へ出かけ、NLP問題をつぶさにルポしてきました。今年は農業問題に取り組み、和歌山県の紀の川へ行つてきました。来年は受験で、これまでのルポの体験の中から愛知県にある学校をめざしていきたい。娘は丁度、第二反抗期と思

春期をむかえつつある。らしく順調に口答えをしたりイライラしたりかと思えば鏡にむかって髪をさわつておすましー。

私はこの子たちに真理を探究していってほしい。どこにいようと隣人を愛し正しさは憶せらず口に出し行動してほしい。わたしの子どもの子どもたちが戦争へいかないですむために。

そうだ、長男がたつ前に家族で第五福竜丸を訪れよう。多分とてもなく寒い日の午後、冷たい風がキラキラ光る海から吹きつけているだろう。その中で確認しようわたしたちはあらゆる核兵器の廃絶を訴えますと。

息子たちよ翔べ、翔んでいけ！そしてその地でこの日を想い隣人を愛し、その羽をひろげなさい。

(正則高校PTA、江東区大島在住)

絵本「わすれないで—第五福音丸ものがたり」（赤坂三好画、金の星社）の「原画展」が十一月中船の誕生の地和歌山県の幾つかの中学校で開かれることになりました。新宮市にある光洋中学校では毎年三年生が第五福音丸展示館を訪ねていますが、その成果をいかして、準備がすすんでいます。

山梨県の小学校や石川県の中学校
がはじめて修学旅行で来館、千葉
の朝鮮中学校の見学もあります。
埼玉県朝霞二中の約三百名の中学生
は五、六名の班に別れて午前十
時から午後四時までそれぞれ見学

班毎に先生が記念撮影、一日中さわやかな声が館内に溢れました。十月二六日には、日ソ婦人セミナーのよびかけで三十人の訪日ソ連親善代表団が訪れ、十二日には広島で開かれた核戦争防止国際医



展示館前の久保山記念碑の除幕式で
(1976.5.29)。碑の左横が筆者

第五福竜丸被災——それは世界中の人々の目を見張らせ恐怖を持たせました。それから四十年近い今も、反核のたたかいから一步も引き下ることの出来ない証人として、福竜丸は、東京の夢の島にその姿を残しています。

一九五四年、当時私は焼津中学校二年生七組を担当していました。

その日、生徒たちは朝からひっくり返るようなさわぎでした。

「先生、アメリカは広島、長崎を

ひどい目に合わせて、まだ足りないのかよ」と怒る男子生徒。「福竜丸の人たちかわいそうね。やけどをして髪の毛が抜けて、いのちまで危いのでしよう」「なんでビキニまでいったんだろう。私の親戚の人もその中にいるのよ。どうしよう」と泣き出さんばかりの女子生徒——。

私の心も怒りでわき立っている。

「みんな原爆の恐しさがわかったでしょう。この原爆を使って、戦争をしたがっている国があるんだよ。先生、いや日本中、世界中の人々はこの原爆をなくすために立上るよ、きっと」というと、生徒の目は突然明るくなり、私の胸には熱いものがこみ上げて来ました。

第五福竜丸は、かけつけた静大の塩川教授らによって放射能の有無や度合が検査されました。毎日ガーガーと鳴るガイガーランターの音は福竜丸が泣いていたように思えて市民たちも泣いた。大漁とよろこんだマグロは、原爆マグロと称され全く売れなくなつ

焼津の教師と生徒たち——第五福竜丸の教え

利波多美

た。マグロは海に捨てられ、漁業の町焼津は死の町のようになつた。この塩川教授の助手の一人として活躍された塚本光男先生が、私の教室にお出て下さったことがあります。生徒たちはこれ幸いと、塚本先生に「先生、原爆はどうして作るのか。種類はいくつもあるのか。教えてや」ということで、二日間も放課後のロングホームルームが原子爆弾についての学習にあてられました。

こんなこともありました。あの読売新聞のスクープのことです。ある生徒が私にいました。「先生、先生が三年生まで受持った小林恵治君(当時、工業高校二年生)が、水爆実験のことを覚えていて地図をしらべて、ビキニに間違いないと、自分の家に下宿していた記者に教えたんだって。先生に教わった生徒は優秀なんだね」。

それから三十数年たって、いまは広島にいる、この時の教え子の一人、森健次君が、つぎのような手紙をくれて、私を泣かせました。
「：広島へ転勤してもう一年と九カ月が過ぎました。広島は四〇年たつたまでも、その傷跡をまさ

九月十二日の閣議で、一九八九年版防衛白書が了承されたとの新聞記事を読み、その白書の要旨を拾い読みをしてみました。白書では、まず、米・ソ両陣営の対立状況を記し、それにもとづく世界の軍事情勢にふれ、特に極東におけるソ連の軍備の増強ぶりがくわしく説明されています。白書では一九六〇年代の中・ソ対立のうち、ソ連は一貫して極東地方の軍備を強化し、いまでは、核兵器をはじめ通常兵力も、その全体の四分の一から、三分の一を極東に配備していることを詳しく述べています。しかも、ソ連軍の主力は北方領土、サハリン、オホーツク、カムチャツカ半島など、わが国周辺に、くまなく配置され、

たしかに、日・ソ問には、いまだに北方領土の問題があります。またソ連は大戦の終結直前に対日宣戦を行ない、多くの日本人を捕虜として本土に連れ去り、重労働をしい、多くの犠牲者を出しました。まさに社会主義を標榜する国としては、不可解な行動でした。

これらのことから、戦後、半世紀近くの今でも、日・ソ両国問には、

いまだに平和条約も結ばれず、相

互の友好も一向に進まない状況下にあります。周知の通りです。

それについて、わが国が憲法で定めてある通り、今後は武装もせず、戦争もない国にとどまつていれば、ソ連の主要な軍事対象に

はならないはずです。

けれども、実際には、日本は戦



平和隨想 (34)

三宅泰雄

ウラジオストックには太平洋艦隊や、全体の六割もの爆撃機が対峙しているのだそうです。

これらは、日本に対する大きい脅威であり、わが国としては、それに対する自衛力の強化が必要であるとの結論に導かれています。

私たち、軍事の素人には、なぜ、ソ連が日本の周辺に、これだけの大軍備を備えねばならないのか、理解に苦しむところです。

たしかに、日・ソ問には、いまだに北方領土の問題があります。

またソ連は大戦の終結直前に対日宣戦を行ない、多くの日本人を捕虜として本土に連れ去り、重労働をしい、多くの犠牲者を出しました。まさに社会主義を標榜する国としては、不可解な行動でした。

これらのことから、戦後、半世紀近くの今でも、日・ソ両国問には、

いまだに平和条約も結ばれず、相

互の友好も一向に進まない状況下にあります。周知の通りです。

それについて、わが国が憲法で定めてある通り、今後は武装もせず、戦争もない国にとどまつていれば、ソ連の主要な軍事対象に

はならないはずです。

けれども、実際には、日本は戦

後ただちに日米安保条約を締結し、ついで一九五四年には自衛隊と称する軍隊を再建しました。また国内には、ひきつき強力なアメリカ軍が常駐しています。日本が再建した軍備も、年を追つて増大の一途をたどり、今では世界でも、屈指の軍事大国になりました。

しかし、今度の防衛白書には、「平和憲法の下、専守防衛に徹し、他国に脅威を与えるような軍事大国にはならない」のが自衛隊の基本方針だ、と書いてあります。しかし、白書の執筆者自身が、この言葉を守っているとは、誰一人として信用しないでしょう。

ソ連の極東地域における軍備の増強について、次のような解釈があります。もし、将来、不幸にしてヨーロッパで戦争がおきれば、アメリカは、直ちに戦線を極東に拡大し、ソ連軍を太平洋方面にひき寄せ、第二戦線を形成することを定めてある通り、今後は武装もせず、戦争もない国にとどまつていれば、ソ連の主要な軍事対象に

は必ずと考えられています。また、千島列島、カムチャツカを航空機で攻撃し、上陸作戦を強行すると

も言われています。さらにオホーツク海に入り、戦略ミサイルを備えたソ連の原潜の撃滅をねらっています。この戦いでは、日本の自

衛隊と在日米軍が主力となります。アメリカはこの対ソ戦略をすでに公表しているそうです。

アメリカが本年の九月から、はじめての大規模な八九年度太平洋演習(PAC・EXハル)には、日本の海上自衛隊と航空自衛隊の主力、陸上自衛隊二個連隊も、これに加わっている由です(アエラ

九月二十六日号)。こういう話を聞けば、ソ連が極東方面に強力な軍備を配していることも、あたりまえのことだと考えられます。しかし、実際には、この交渉は作り過すぎた兵器の相互削減であり、また、言わざるをえません。

いま、米・ソ問で軍縮交渉が進行つつあり、その成果に期待している人も少なくありません。しかし、実際には、この交渉は作り過ぎた兵器の相互削減であり、また、言わざるをえません。

いま、米・ソ問で軍縮交渉が進行つつあり、その成果に期待している人も少なくありません。しかし、実際には、この交渉は作り過ぎた兵器の相互削減であり、また、言わざるをえません。

私は、これまで米・ソ間の対立が緩和されるとは思われません。むしろ、それより、年に三兆七千億円もの、わが国の軍事予算を大幅に減らして、もっと学術、教育、文化、福祉の費用にまわしてほしいと望んでいます。

いる建設会社にも原爆症に悩んでいる奥さんを持つた社員、原爆手帳を持って一ヶ月に数度病院に通つている課長などハンデーを背負つた人がたくさんいます。今年の八月六日、老社員がボツリとつぶやくようにいった言葉が、印象的でした。「あの日も、こんな暑い夏の日だった」と、窓の外をながめながら。この老社員はあと一ヶ月で停年退社をします。眞面目で一本気な性質でしたが、出世もせず、また再就職の当もないまま、確実に近づく停年の日を過していくます。そして時に口にする言葉は、「生きていただけでも幸せだ」。余程の地獄を見たのか、八月六日だけは好きな晩酌もやらず、家路へ直行します。日夜仕事に忙殺されている私がですが、広島の原爆に対する憎しみと恨みは決して忘れないでしょ。それにつけても自分がふるさと焼津の第五福竜丸の被害は絶対許せないと想います」。この手紙を読み終えて、私は焼津の教師だったよろこびと、教育の大切さ、「教え子をふたたび戦場におくるな」の誓いをしみじみと思ったことでした。